

平成22年産米の相対取引価格(出荷業者)(速報)  
(平成22年12月)

(単位:円/玄米60kg)

産地	品種銘柄	地域区分	22年12月 ①	参考			
				22年11月 ②	21年12月		対前年比 ①/③
					対前月比 ①/②	③	
北海道	きらら397		10,989	11,030	100%	14,022	78%
北海道	ななつぼし		11,298	11,540	98%	14,088	80%
青森	つがるロマン		11,462	11,559	99%	14,014	82%
青森	まっしぐら		11,226	10,907	103%	13,674	82%
岩手	ひとめぼれ		12,045	11,622	104%	14,854	81%
岩手	あきたこまち		12,185	11,460	106%	-	-
宮城	ひとめぼれ		11,947	12,174	98%	14,951	80%
宮城	ササニシキ		11,875	12,150	98%	-	-
秋田	あきたこまち		12,560	12,404	101%	14,605	86%
山形	はえぬき		11,816	11,428	103%	14,332	82%
福島	コシヒカリ	中通り	12,723	12,282	104%	14,247	89%
福島	コシヒカリ	会津	13,757	13,583	101%	15,239	90%
福島	コシヒカリ	浜通り	12,968	12,558	103%	14,239	91%
福島	ひとめぼれ		11,671	11,307	103%	13,976	84%
茨城	コシヒカリ		12,948	13,033	99%	14,239	91%
栃木	コシヒカリ		12,834	12,386	104%	14,064	91%
千葉	コシヒカリ		12,709	12,720	100%	14,311	89%
長野	コシヒカリ		13,606	13,678	99%	15,252	89%
新潟	コシヒカリ	一般	15,442	15,370	100%	16,584	93%

産地	品種銘柄	地域区分	22年12月 ①	参考			
				22年11月 ②	21年12月		対前年比 ①/③
					対前月比 ①/②	③	
新潟	コシヒカリ	魚沼	21,796	21,566	101%	-	-
新潟	コシヒカリ	岩船	15,757	15,679	100%	-	-
新潟	コシヒカリ	佐渡	15,752	15,676	100%	-	-
富山	コシヒカリ		13,864	13,625	102%	15,568	89%
石川	コシヒカリ		13,284	-	-	15,061	88%
福井	コシヒカリ		13,091	13,139	100%	14,955	88%
福井	ハナエチゼン		12,061	12,034	100%	13,866	87%
岐阜	コシヒカリ		13,716	-	-	-	-
三重	コシヒカリ	一般	12,902	13,047	99%	14,841	87%
滋賀	コシヒカリ		13,272	13,352	99%	14,906	89%
滋賀	キヌヒカリ		11,826	-	-	14,239	83%
兵庫	コシヒカリ		13,536	13,613	99%	-	-
島根	コシヒカリ		13,248	12,810	103%	15,018	88%
岡山	アケボノ		10,949	11,020	99%	-	-
愛媛	コシヒカリ		13,036	-	-	-	-
福岡	ヒノヒカリ		12,418	12,266	101%	14,448	86%
熊本	コシヒカリ		13,075	12,954	101%	-	-
大分	ヒノヒカリ		11,826	-	-	14,650	81%
全銘柄平均価格			12,711	12,630	101%	14,754	86%

資料:農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注:1)相対取引価格は、ア 全国出荷団体、イ 年間の玄米仕入数量が5,000トン以上の道県出荷団体等、ウ 年間の直接販売数量が5,000トン以上の出荷業者と卸売業者等の主食用の相対取引契約(数量と価格が決定した時点を基準としている。)の価格(運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格。)であり、その契約数量を用いて加重平均した価格である。

その際、新潟、長野、静岡以東(東日本)の産地品種銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西(西日本)の産地品種銘柄については受渡地を西日本としているものを加重平均している。

2)また、相対取引価格は、個々の契約数量に応じて設定される大口割引等の割引などが適用された価格であり、実際の引取状況に応じて等級及び付加価値等(栽培方法等)の価格調整が行われることがある。

3)産地品種銘柄は、21年産の公表対象産地品種銘柄または公表対象となっていなかった府県の21年産検査数量上位の1品種銘柄で、かつ、月1,000トン以上の取引があったものである。

4)全銘柄平均価格は、報告対象産地品種銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均した価格である。

5)21年12月は21年産の価格である。